

被災地仮設住宅訪問ボランティア養成講座 参加報告

5月27日、28日と浄土真宗本願寺派仙台別院にて開催されました、『被災地仮設住宅訪問ボランティア養成講座』に分室職員数名で受講させて頂きました。両日9時から17時半までとタイトなスケジュールでしたが、スタッフの皆様によるお気遣いにより、ただ知識やノウハウを詰め込むだけではなく、交流も含め楽しく過ごせたように思います。



一日目は、座学が中心で「なぜ居室訪問活動をするのか?」「仮設に住んでいるとどんな気持ちになるか?」「どんな態度の人に話をしたいか?」を、それぞれブレイン・ストーミング、ワールドカフェという方法で話し合いを行いました。とにかく意見を多く出すという作業は大変でしたが、他の受講者のご意見を参考に気付けることが多々ありました。普段から心掛けることが重要だと思います。

一日目の後半から二日目にかけては、ロールプレイが中心でした。経験したことはありませんでしたが苦手意識があり、できればやりたくないと思っていたほどでしたが、実際やってみると案外面白いものでした。但し、相談者役はなるべくなりきる必要がありますし、相談員役は真剣に向き合わなければならないので、終わったら反省ばかりだったのは残念です。

今回個人的に一番の学びは「沈黙することで寄り添う気持ちを示す」というところです。表現として正しいかどうかはわかりませんが、相手のペースで話して頂くために、あえて声をかけない難しさと堪えがたさを感じました。相手の方が話してくれないのは、自分の質問・聴き方が悪いのだという一方的な思いを除けるようにしたいです。また、研修会の進行に関しても、チェックイン・チェックアウトなど大変参考になりました。

今回参加させて頂き、誠にありがとうございました。

曹洞宗東日本大震災災害対策本部 復興支援室分室
伊藤和貴 拝